

開発建設部



▲スカベンジャーントでチームリーダーからの指示を真剣に聞く参加者

本イベントは、中城湾港泡瀬地区事業の説明を行うと同時に、泡瀬干潟の生き物や自然環境にふれあうことにより、海に親しみを持つてもらうことを目的として行いました。また、今回「イベント運営について、「子供たちへの体験学習の提供」を目的としたNPOと共同で行うことにより、子供たちが受け入れやすい環境教育の場を提供しました。

一風変わったイベント名は、風船の中に入ったアイスボンボンと、発見・驚きが詰まつた催しの内容を掛けたものです。

本イベントは、中城湾港泡瀬地区事業の説明を行うと同時に、泡瀬干潟の生き物や自然環境にふれあうことにより、海に親しみを持つてもらうことを目的として行いました。また、今回「イベント運営について、「子供たちへの体験学習の提供」を目的としたNPOと共同で行うことにより、子供たちが受け入れやすい環境教育の場を提供しました。

親子百六十五名が参加し、ヒントや指示を手がかりに品物を集め

る「スカベンジャーント」、「海族冒険クルーズ」、海辺の漂着物

などを使った「お洒落な海アート」

などを楽しみました。また、外国人の参加も

あり、子どもたちが片言の英語を使いながら

コミュニケーションをはかる姿もみられました。



▲船長から海族の心得を学ぶ

親子百六十五名が参加し、ヒントや指示を手がかりに品物を集める「スカベンジャーント」、「海族冒険クルーズ」、海辺の漂着物などを使った「お洒落な海アート」などを楽しみました。また、外国人の参加もあり、子どもたちが片言の英語を使いながらコミュニケーションをはかる姿もみられました。

三日間の来街者数は七万五千人余り、金曜日及び土曜日は雨の影響もあって、来街者が少なかつたようですが、日曜日は曇りの天気にもかかわらず、多くの来街者が訪れました。

公共交通以外の車両を規制し、道路を歩行者に開放する那覇市国際通りトランジットマイル社会実験が、平成十五年十一月二十一日（金）～二十三日（日）の三日間、午後二時から午後八時にかけて実施されました。



▼元気いっぱい“海族”



このようないべんとは当事務所では初めての試みでしたが、今後も様々な角度から港湾事業や環境保全への取り組みについて理解をいただくため、地域に密着したPR活動を実施していく予定です。



実験では、通り内の移動の円活性を図ると共に、国際通り周辺地区、モノレール、既存路線バスとの連絡を図るトランジットバスの有料運行実験（百円／回（三百円／日）・一日共通乗車券）を行いました。

トランジットバスは、国際通りルート、天久ルート、若狭ルートの三日間合計で二千二百九十九人（来街者の約三%）が利用しました。今後、各種アンケート調査、交通量調査等の分析を行い取りまとめて行く予定です。

中城湾港泡瀬地区 海の自然学習会 親子で「愛すボンボン元気海？」開催

—那覇市国際通りトランジットマイル社会実験について—

